



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2008, 90(4): 683-683

ISSUE DATE:

2008-07-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/142653>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成20年7月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第90巻 第4号

ISSN 0525-2997

**vol.90      no.4**

# 物性研究

**2008 / 7**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 76 (2001), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

6月29日(日)、『「地球温暖化」京都タウンミーティングー「京都」から国連事務総長へのメッセージ』が開催され、出席の機会を得た。国連事務総長パン・キムン氏が京都大学を訪問し、京都議定書を締結した地の京都で、有識者や学生、NGO、企業、一般の方等と意見交換を行い、地球温暖化に対する取り組みへの意欲を新たにすることを希望して、実施されたものである。事務総長からは、先進国日本が強いリーダーシップを発揮することを希望するというメッセージがあり、一方、NGOや京大生からは国連機関の強力な発言・行動性・機動性を期待するといった意見が寄せられた。

私が学生だった30年ほど前には、環境問題に関してこのような会議が開催されることは想像することさえできなかった。それを思うと昨今の状況は、隔世の感すら覚える。ただ、私は「地球温暖化問題」は、環境問題全体のあくまでの氷山の一角として捉えたい。毎年のように新たに作り続けられている人工化学物質、やむことのない電磁場汚染、それらの複合汚染の地球・人類・生態系への影響は、長期的影響はもとより、短期影響もまったくといってよいほど手つかずと言える。単一因子の単一システムへの影響評価すら、時間とコストがかかる上に、多数因子の組み合わせによる多様な時間スケールにおける影響評価に関しては、その方法論すら確立されていない。

私たちは今、「地球温暖化問題」を1つのプロトタイプとして捉え、人類の英知を結集して持続可能な明るい将来展望を切り開く上でも、学際的・国際的な交流をこれまで以上に進めていかなければならない。先日の京都タウンミーティングでは、多くの若い参加者の姿を目の当たりにして、一筋の光を見る思いをした。

(M. M.)

## [物性研究]

### 編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

### 編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)  
古賀 昌久 (京大・理・物理)  
高橋 義朗 (京大・理・物理)  
武末 真二 (京大・理・物理)  
松本 剛 (京大・理・物理)  
陰山 洋 (京大・理・化学)  
遠山 貴己 (京大・基研)  
戸塚 圭介 (京大・基研)  
早川 尚男 (京大・基研)  
森成 隆夫 (京大・基研)  
和田 浩史 (京大・基研)

### 各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)  
泉田 渉 (東北大・理・物理)  
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)  
波多野 恭弘 (東大・地震研)  
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)  
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)  
小西 哲郎 (名大・理・物理)  
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)  
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)  
水島 健 (岡大・理・物理)  
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)  
御手洗菜美子 (九大・理・物理)  
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)  
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究    第 90 卷第 4 号 (平成 20 年 7 月号)    2008 年 7 月 20 日 発行

発行人    村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所    ショウドウ・イープレス  
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所    物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。**

### 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 90-4 (7月号) 目 次

○ビスマス研究 温故知新 ー固体中ディラック電子とバンド間磁場効果ー …… 伏屋 雄紀 ……	537
○組み合わせ最適化問題と量子アニーリング ー量子断熱発展の理論と性能評価ー …… 鈴木 正 ……	598
○研究会報告 「経済物理学 III ー社会・経済への物理学的アプローチ」 ……	677
○編集後記 ……	683

物 性 研 究 90－4（7月号）目 次

○ビスマス研究 温故知新 －固体中ディラック電子とバンド間磁場効果－ …… 伏屋 雄紀 ……	537
○組み合わせ最適化問題と量子アニーリング －量子断熱発展の理論と性能評価－ …… 鈴木 正 ……	598
○研究会報告 「経済物理学Ⅲ －社会・経済への物理学的アプローチ－」 ……	677
○編集後記 ……	683